

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
<p>接続者が増えることによって、使用料の額が増えるとともに未納額も増えるため、その滞納対策が課題である。</p>

(8)改善実績（過去3年間の実績）
<p>滞納対策として夜間電話催告と夜間戸別訪問回数を増やした。</p>

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4 点
		平均 3.6点

(10)総合評価（課の見解）	
<p>今後の方向 (該当番号に○印)</p>	<p>① 前年度と同じく、そのまま継続する。 2 . 見直して継続（業務の拡大） 3 . 見直して継続（業務の縮小） 4 . 見直して継続（方法の改善） 5 . 見直して継続（他業務と統合） 6 . 廃止する。 7 . 休止する。</p>
<p>評価理由</p>	<p>下水道使用料調定収納管理システムを更新することにより業務の効率化が向上したが使用料の徴収額の増加とともに未納額も増加したことについて今後も見直しが必要である。</p>

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
<p>下水道の供用開始区域の拡大に伴い、例年以上に事務処理量が増加し未納者も増えることが予測されるため、事務の効率化、使用者に対する説明、理解を図る。</p>